

令和元年度地域懇談会

開催回次	令和元年度第3回	開催月日	11月25日	開催校区	岩西校区	開催場所	東幸町公民館
主な議題				市の回答			
<p>○ 岩西校区内の市営住宅について</p> <p>校区内には、市営の岩屋住宅、西口住宅、県営の西口住宅があります。その内、県営西口住宅の建替が完了し、市営西口住宅も建替事業が進められています。</p> <p>校区内の市営住宅について、現在検討されている建替計画がありましたらその詳細について教えてください。</p>				<p>現在進行中の市営西口住宅建替事業は、今年度1号棟が完了しました。来年度より2号棟建設に着手し、移転完了は令和4年夏ごろを目標に進めていきます。その後は、令和7年度に3号棟が完成し、西口住宅建替事業を完了する予定です。</p> <p>市営岩屋住宅については、市営住宅全体の入居状況を勘案しつつ、西口住宅完了後の建替を予定しています。</p>			
<p>○ 児童クラブについて</p> <p>本校区の児童クラブは、私有地を借りて運営しているため、その土地の相続などの問題で、場合によっては移転しなければならないなど、不安定な状況にあります。また、児童の数が増えており、今の建物では受け入れが難しくなることも考えられます。</p> <p>児童クラブは、子育て支援や健全育成という意味で、極めて大切な事業であると考えます。保護者も児童も安心できる恒久的な運営ができるよう、公営での実施、または民営への市有地・公共施設の貸与等を検討していただきますようお願いいたします。</p>				<p>児童が放課後を安全に過ごせる場所を安定的に確保するため、民営児童クラブのある校区につきましては、その運営の継続や児童数増加への対応が困難であるなどの事情があれば、公営児童クラブの設置について検討しますが、現在、岩西校区では、父母会が児童クラブを継続して運営していく意向であると承知しています。</p> <p>また、運営場所につきましては、民営児童クラブの運営の自主性を尊重し、そのため、自らが使用する場所を確保していただくことを原則としており、市は各種補助制度等でその運営を支援しています。</p> <p>今後ますます、放課後に子どもが安心・安全に過ごせる場所へのニーズは高まってくるものと考えており、児童クラブを利用する子どもだけでなく、希望する全ての子どもが、放課後を学校内で過ごすことができるような新たな取組みを、教育委員会とともに検討しているところです。</p>			
<p>○ 防災無線について</p> <p>昨今の全国的な自然災害において、防災無線が活用されている状況を多く目にします。地域住民などに対して、緊急時の気象情報及び災害情報について、適確かつ迅速な伝達を行うために、防災無線は非常に有効な手段であると考えます。</p> <p>しかしながら、現在、岩西校区には防災無線の設置がありません。今後予測される風水害、南海トラフ地震など、いつ起こるか分からない災害に備え、校区住民の安心、安全を確保するために、本校区内に防災無線を新設していただきますようお願いいたします。</p>				<p>本市において防災行政無線の屋外拡声子局（支柱の上部にスピーカーがあるもの）は市内に63局整備しております。その整備基準は、小学校区ごとではなく、半径500メートルの円を描き、音達試験を実施したうえで市内をカバーできるように配置したものです。従いまして、この岩西小学校区については西側を、つつじが丘小学校（平成21年度整備）、東側を飯村公園（平成20年度整備）に設置された屋外拡声子局がカバーしております。</p> <p>ただし、皆さんからご指摘をいただいておりますとおり、大雨や様々な気象状況により音声聞き取りづらいという意見はこれまでもいただいております。屋外であれば聞こえる音も屋内では住宅の気密性向上などの理由から聞こえにくいことから、防災無線のサイレンを「気づき」としてとらえていただき、災害情報は複数の手段で入手していただければと考えております。</p> <p>具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災無線の再放送が聞けるテレホンガイダンスの利用（0532-55-4360） ・自動で電源が入る防災ラジオの購入 （一般世帯は1台1,500円、75歳以上の方のみの世帯は1台500円） ・事前登録制のメール配信システム、豊橋ほっとメールの登録 			

- ・豊橋市のホームページの確認
- ・ケーブルテレビチャンネルのデータ放送
- ・スマートフォンアプリ「ヤフー防災」の登録

以上のような情報伝達手段で避難勧告等の緊急情報を市民のみなさまにお伝えしますので、防災無線から何か聞こえたらテレビやラジオをつけたり、携帯電話などで情報を確認して、自分や家族を守る最善の行動をとっていただきたいと思います。